

「こんな条件なら働きたい！」 職種別：求職者の注目ポイント

Contents

- 1 「事務」～“隠れ1位”の「仕事内容」に着目！～
- 2 「テレフォンポインター」～勤務時間やスキルアップは二の次...!?～
- 3 「web関連事務職」～求職者はどこまでも正社員志向～
- 4 「レストラン」～雰囲気や人間関係がとって大切～
- 5 「スーパー」～ご近所感覚で「イエチカ」がトップ条件～
- 6 「ホテル」～夢とやりがいを感じられれば即決断！～
- 7 「商品検査仕分け」～「仕事内容」もキッチリ見られている～
- 8 「美容関連」～3人に2人は「仕事内容」が「キャリアアップ」にも注目！～
- 9 「医療福祉」～「やりがいのある仕事」が最重視項目の第1位～

【調査概要】

現在、「高校生、短大・専門学校生、大学生、大学院生、アルバイト・パート、派遣社員、契約社員、無職の人、且つ「過去1年以内にアルバイト・パート、派遣社員、契約社員の仕事に就いたことがある人」で、今後も「アルバイト・パート、派遣社員、契約社員」での就労を希望している人

調査期間 : 2007年2月
 サンプル数 : 6,941名
 ウェイトバック : 対象者サンプル数が実際の人口の構成比と異なるため、総務省統計局の「平成14年就業構造基本統計調査」による非正規雇用就業人口に基づき、「属性・性別」ごとにウェイトをかけた。

サンプル数内訳

	北海道	首都圏	東海	関西	九州
高校生	47	247	144	147	58
短大・専門学校生	36	135	46	86	30
大学・大学院生	136	888	324	522	187
フリーター男性	30	248	67	101	45
フリーター女性	114	677	214	376	150
主婦	166	746	373	435	166

「anReport」では、求職者のライフスタイル、意識の変化、また人材採用・戦力化、等の各種アンケート調査を定期的の実施、労働統計等の資料と併せ、毎月一回「トレンドDATA」として発表をしています。
 株式会社インテリジェンス an Report編集部 E-mail:an_report@inte.co.jp

1 希望の業種=事務

選択条件は僅差で「給与」が1位
しかし“隠れ1位”の「仕事内容」に着目！

「事務」を希望している層は、仕事を探す際に具体的にどんな点を重視しているのか。「事務」を希望する人たちを対象に行った「仕事探しの際にもっとも重視すること(トップ15)」の調査結果が、右中段の棒グラフ(図1-2)だ。トップは「給与が高いこと」(12.8%)。僅差で2位の「仕事の内容が自分に合っていること」は12.6%。以下、「勤務地が自宅から近いこと」(11.5%)、「時間の融通が利くこと」(7.9%)と続く。

このランキングでは1位は「給与」だが、2位以下に、「仕事内容が自分に合っている」や「仕事内容に興味を持てる」、「やりがいのある仕事である」、「自分でもできそうな仕事である」など、仕事内容に関する項目が、多く上位にあがっている。そこで、これらを【仕事内容】としてひとつのグループにまとめてグラフ化したのが、図1-1のレーダーチャートだ。同様に、たとえば図1-2の「働いている人になじめそうである」、「店長や社員の人の雰囲気が良い」は【職場環境】としてまとめた。

このレーダーチャート(図1-1)によると、【給与】は15%程度、【仕事内容】はその倍近い30%に達していることがわかる。また【スキル・キャリアアップ】も、わずかではあるが【給与】より多いことがわかる。事務職を希望している人たちは、もちろん給与も譲れない条件ではあるが、それ以上に仕事内容やスキルアップを重要なポイントとして考えていることがうかがえる。

正社員希望者は「スキル・キャリアアップ」、
アルバイト・パートは「時間の融通」
主婦は「勤務地」、「時間」が大事。

では今度は、対象をより細分化するとどうなるか。まずは「事務」を希望する人を、希望する雇用形態別に分けて、その傾向を見てみた(図1-3)。

全体でトップだった【仕事内容】は、とくに契約社員希望の層で高い。一方、アルバイト・パートの希望者は、【仕事内容】は20%台前半と低く、【勤務時間の融通が利く】がそれに迫るほど高い。また、正社員希望者は【仕事内容】のほか【スキル・キャリアアップ】を重視している。

次に、「事務」を希望する人を、その属性で分けてみると(図1-4)、高校生はサンプル数が少ないため非掲載。【仕事内容】は、とくにフリーターで高い。フリーターは【スキルアップ・キャリアアップ】も高い。そのほか、大学・大学院生は【給与】が、主婦は【勤務地】【時間の融通】【勤務期間・時間が短い】がほかの層に比べて高いことが分かる。

図1-1. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

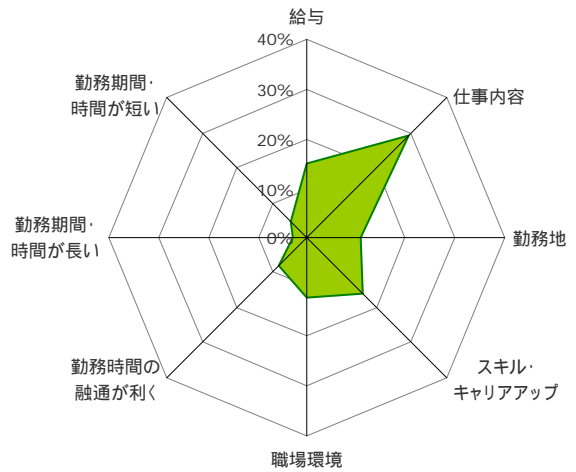


図1-2. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

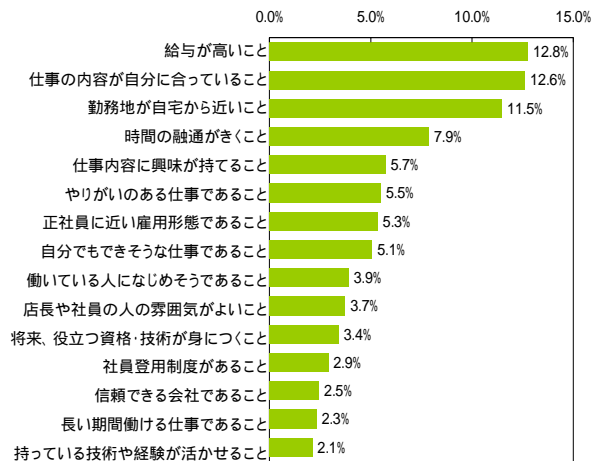


図1-3. 仕事さがしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

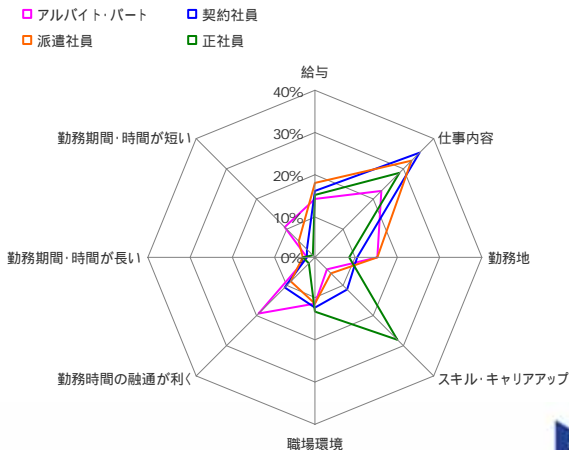
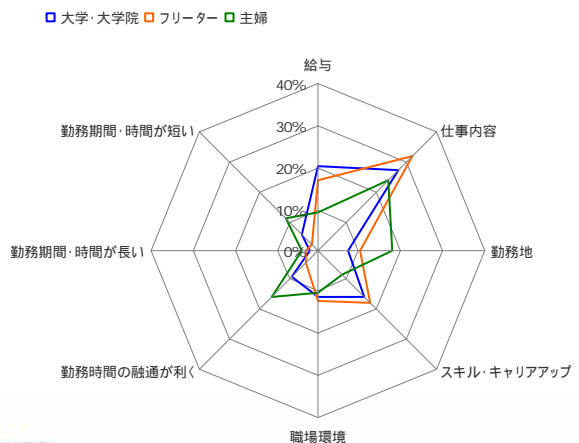


図1-4. 仕事さがしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



2 希望の業種=テレホンアポインター

まずは「給与」ありきの職種
勤務時間やスキルアップは二の次!?

「テレホンアポインター」希望者の仕事選択時の最重視項目を見てみると(図2-2)、結果は圧倒的に「給与が高いこと」に集中し、30.4%を占めた。2位には「時間の融通が利くこと」(12.7%)、以下「仕事の内容が自分に合っていること」(7.9%)、「勤務地が自宅に近いこと」(7.1%)と続く。

この結果を踏まえて、項目内容をグループごとにまとめ、その傾向を見てみるとどうなるか(図2-1)。やはり、【給与】への関心が高いことがわかる。具体的には先の「給与が高いこと」に加え、「交通費が支給されること」(2.9%)、「給与が日払いであること」(2.0%)などが含まれている。

逆に、「事務」ではそれなりのボリュームがあった【スキル・キャリアアップ】は10%を大きく割り込んでいる。さらに【勤務期間・時間が長い】も【勤務期間・時間が短い】も同様に少ない。この結果から、給与が高いことがこの職種の最大の魅力であり、スキルアップや、勤務期間・時間といった勤務条件については、それほど重視していないと言えるだろう。

大学生の半数が「給与」で決める
主婦はプラス職場環境も重視

次に、希望の雇用形態別では、どうだろうか(図2-3、正社員と契約社員はサンプル数が少ないため非掲載)。アルバイト・パート、派遣社員とも、【給与】が1位であることに変わりはなく、分布傾向も似ている。違いとしては、アルバイト・パートは【職場環境】を気にする人も少数ながらあり、派遣社員はより【勤務時間の融通が利く】に関心があるようだ。

属性別では(図2-4、高校生はサンプル数が少ないため非掲載)、いずれの層も【給与】が高くなっているが、特に大学・大学生で高くなっている。その他フリーターは【仕事内容】【スキル・キャリアアップ】が、主婦は【職場環境】を重視する傾向が強い。

図2-1. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

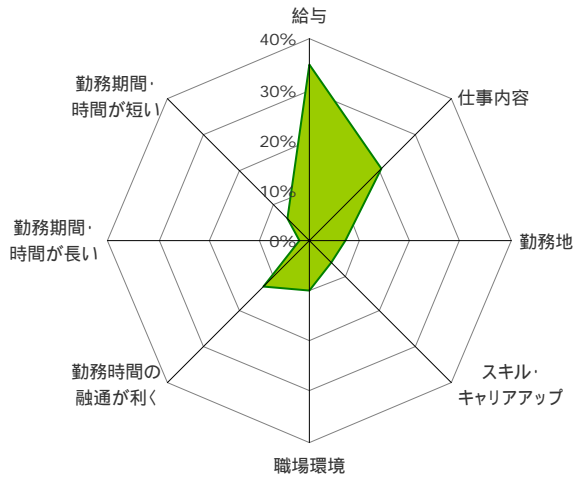


図2-2. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

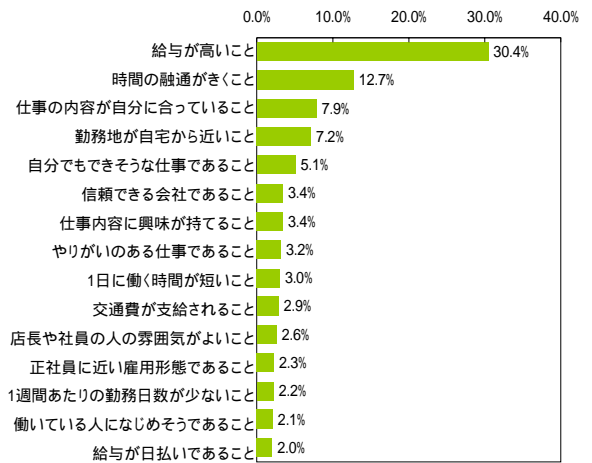


図2-3. 仕事さがしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

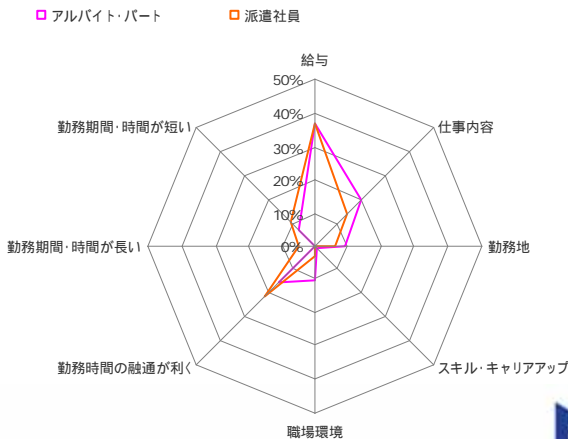
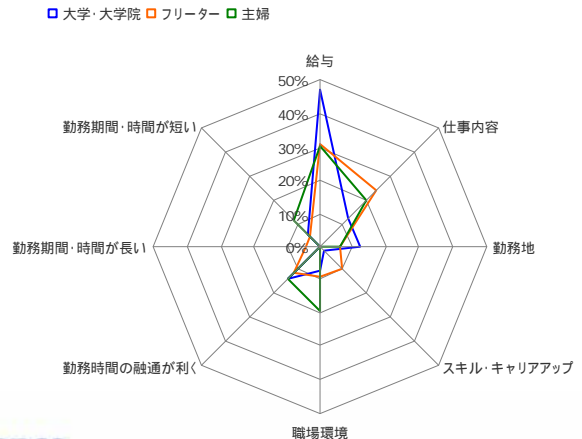


図2-4. 仕事さがしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



3 希望の業種=web関連事務職

求職者はどこまでも正社員志向
「仕事内容」と「キャリアアップ」で決める

まずは具体的な重要視項目のトップ15(図3-2)から見てみよう。1位は「仕事内容に興味を持てること」で15.6%。以下、2位「給与が高いこと」(12.0%)、3位「将来、役立つ資格・技術が身につくこと」(11.5%)となっている。「給与が高いこと」に3ポイント以上の差を付けて「仕事内容に興味を持てること」がトップになった点が、この職種の特徴と言えるだろう。

次に、グループ分けした場合を見てみると(図3-1)、「仕事内容」と「スキル・キャリアアップ」が突出し、逆に、「勤務地」や「勤務期間・時間が長い」は極端に少ない。仕事内容が希望に合っており、キャリアアップにつながることを第一に考える求職者のイメージが浮かんでくる。「スキル・キャリアアップ」に含まれた重要視項目を列記すると、「将来、その業界で正社員として働くためのステップとなること」や「正社員に近い雇用形態であること」「社員登用制度があること」など。この職種希望者には正社員を明確に視野に入れた人がいかに多いか。このグラフは、それを示したものである。

「勤務期間・時間が長い」の関心度は0%...!?
高校生も将来を託す現代の花形職種

では、希望雇用形態別に見てみよう(図3-3)。いずれの雇用形態も【仕事内容】と【スキル・キャリアアップ】が際立って多く、特に契約社員と正社員希望者で重視度が高くなっている。

希望の雇用形態に関係なく、求める条件はほとんど同じだ。また、契約社員と正社員を希望する人の場合、「勤務期間・時間が長い」を重視する人は0%に等しい。そういった点は選択の条件にはほぼならない、ということだろう。

属性別では(図3-4)、全体のグラフの形状は似ているものの、バラつきは希望雇用形態別よりはよく出ている。とくに主婦の場合、「勤務時間の融通が利く」が10%台半ばにまで達している一方、「スキル・キャリアアップ」と回答している割合はフリーターの半分以下。正社員志向の強い職種ながら、主婦層に限ってはほかの属性との温度差が幾分あるようだ。また、高校生がこの【スキル・キャリアアップ】に関して大学・大学院生を上回っている点も興味深い。

図3-1. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

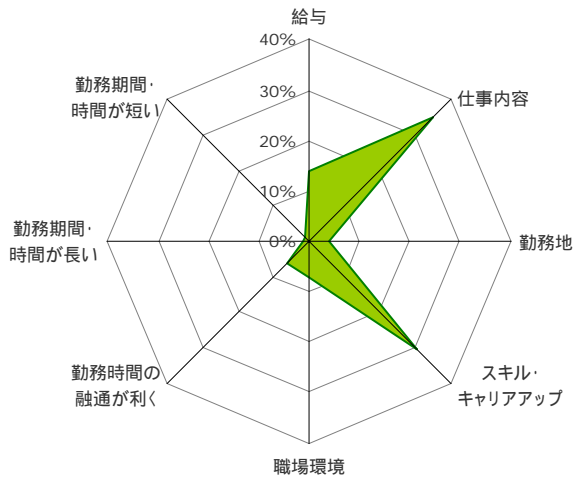


図3-2. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

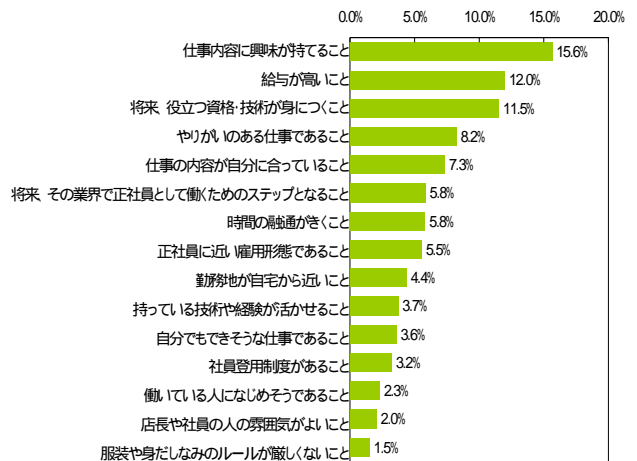


図3-3. 仕事さがしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

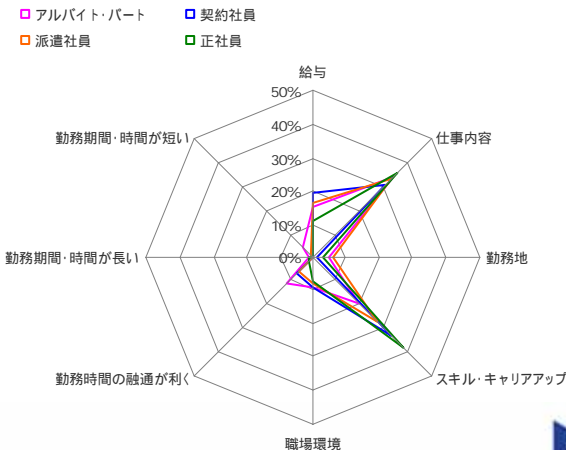
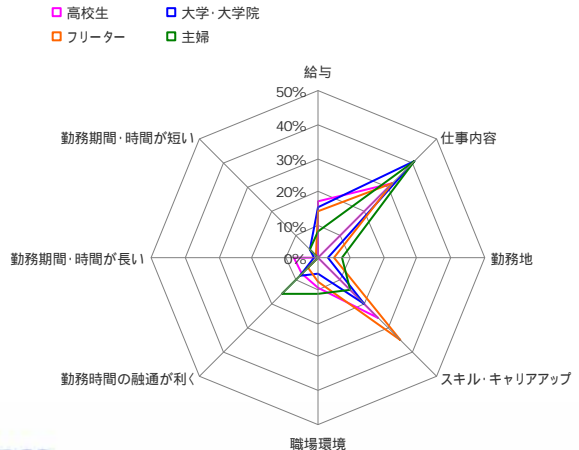


図3-4. 仕事さがしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



4 希望の業種=レストラン

雰囲気や人間関係がとっても大切
職場の「環境」重視系職種

「レストラン」を希望する求職者の最重視ポイントだが、まずは個別の条件のベスト10(図4-2)から。

もっとも多かった最重視ポイントは「時間の融通が利くこと」(16.7%)。2位は「給与が高いこと」(14.6%)、3位は「店長や社員の人の雰囲気が良いこと」(11.0%)という結果に。ここで着目したいのは3位の条件。今回9職種をピックアップするが、「店長や社員の人の雰囲気が良いこと」がベスト3に入った職種は、この「レストラン」だけだ。

その特徴は、各条件をグループ分けした結果(図4-1)を見ると、より明確。個別では1位だった[時間の融通が利くこと]を上回る数値となったのが[仕事内容]と[職場環境]だからだ。この[職場環境]、具体的には先の「店長や社員の人の雰囲気が良いこと」や「働いている人になじめそうである」(個別では6位、5.6%)などの個別条件が含まれたもの。

高校生は「給与」と「職場環境」
主婦は「勤務地」

次に、希望雇用形態別でのグループ分けだが(図4-3、派遣社員・契約社員・正社員はサンプル数が少ないため非掲載)、アルバイト・パートを希望する人は、[職場環境]が最も多い。また[給与][仕事内容][勤務時間の融通が利く]も重視する一方で、勤務時間・勤務期間やスキル・キャリアアップについては重視度が低いようだ。

属性別(図4-4)にみると、いずれの層も[職場環境]の重視度が高く、特に「高校生」で顕著。高校生はほかに[給与]を重視する人も多い。フリーターは[仕事内容]と[スキル・キャリアアップ]が高い。主婦はほかの層に比べ、[職場環境]や[勤務時間の融通が利く][勤務地]の重視度が高く、[給与][仕事内容][勤務時間・期間の長短]についてこだわりの人は少ないようだ。

図4-1. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位: %)

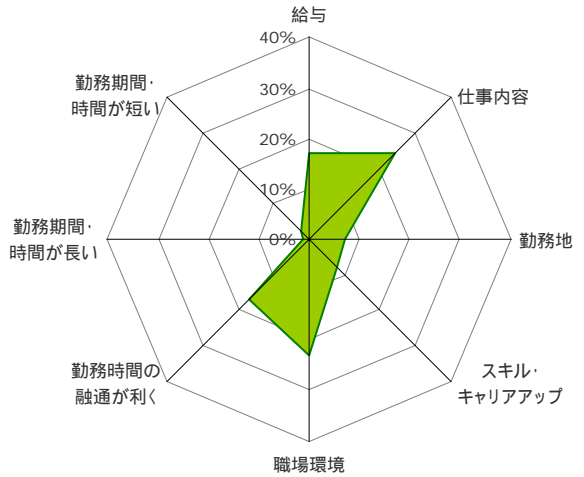


図4-2. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位: %)

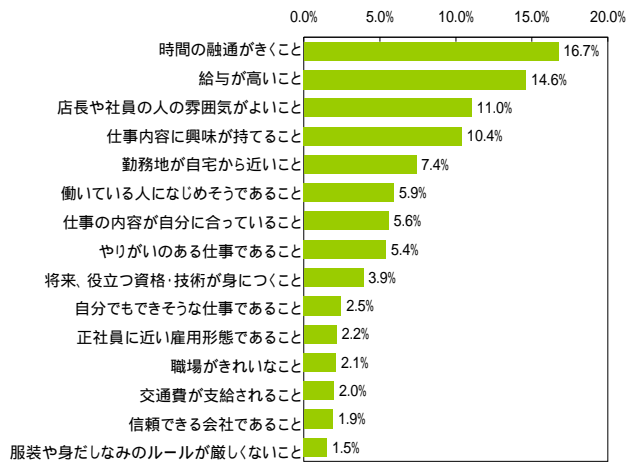


図4-3. 仕事さがしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位: %)

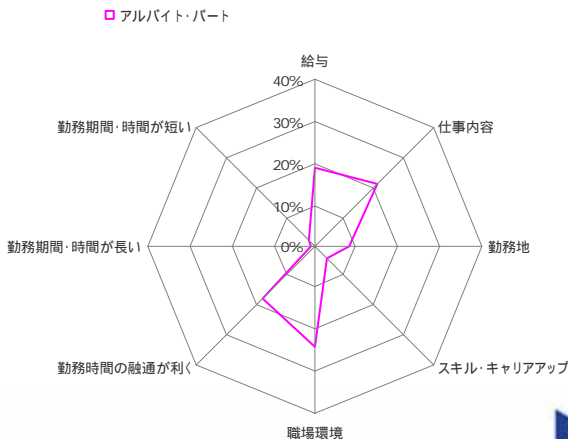
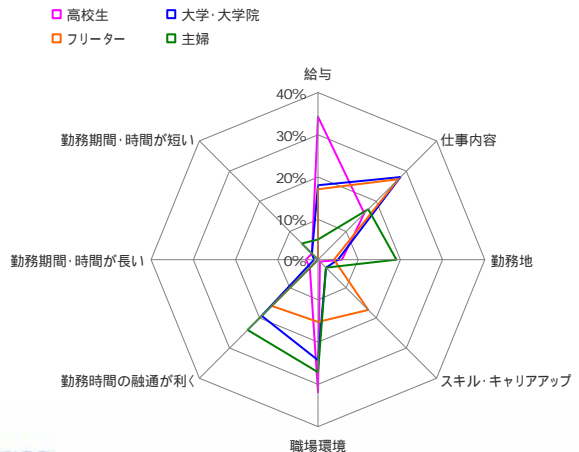


図4-4. 仕事さがしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位: %)



5 希望の業種=スーパー

ご近所感覚で「イエチカ」がトップ条件
「仕事内容」や「給与」も関心高し

「スーパー」の希望者が最重要視する項目から見てみよう(図5-2)。
1位は「勤務地が自宅に近いこと」(17.5%)。2位は「給与が高いこと」(14.2%)、3位は「時間の融通が利くこと」(11.6%)。ここで注目すべきは、やはり1位の「勤務地が自宅に近いこと」だろう。今回取り上げる9職種で、この条件が1位となったのはこの「スーパー」だけ。まさに“ご近所の職場”というイメージが、そのまま結果として表れた。また、4位に「店長や社員の人の雰囲気が良いこと」(8.3%)が入っているのは次に、グループごとにまとめた条件の分布ではどうなるか(図5-1)。多かったのは「仕事内容」[勤務地][給与]といったところ。また、[職場環境]も10%とそこそこの数値となった。一方、勤務期間や時間の長さにはほとんど関心がないのも特徴的だ。

アルバイト志望なら「時間の融通」が優先
正社員志望ならキャリアアップ志向

では、希望の雇用形態別に見てみるとどうだろう(図5-3、派遣社員・契約社員はサンプル数が少ないため非掲載)。アルバイト・パートと正社員を比べてみると、[給与]や[仕事内容]、[職場環境]は双方とも重視度が高いものの、アルバイト・パートは[勤務地][勤務時間の融通]が、正社員は[スキル・キャリアアップ]が高くなっていることが特徴である。たとえ希望職種は同じでも、アルバイトと正社員ではこれほど重要視する条件が異なるのだ。
属性別(図5-4)では、主婦は[勤務地]が30%超と圧倒的に多く、フリーターは[スキル・キャリアアップ]に突出。また、大学・大学院生では[勤務時間の融通が利く]が最も高い。

図5-1. 仕事さしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

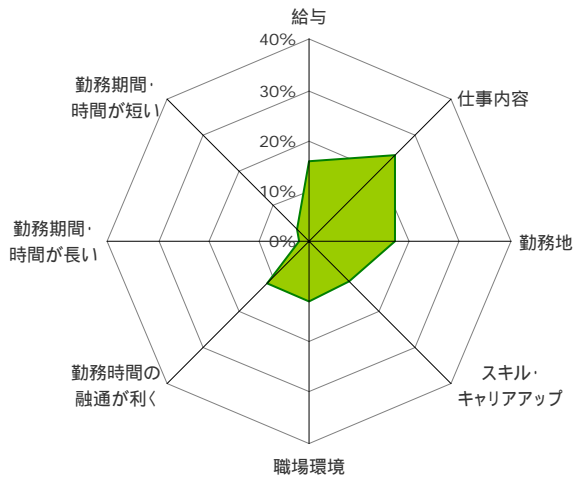


図5-2. 仕事さしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

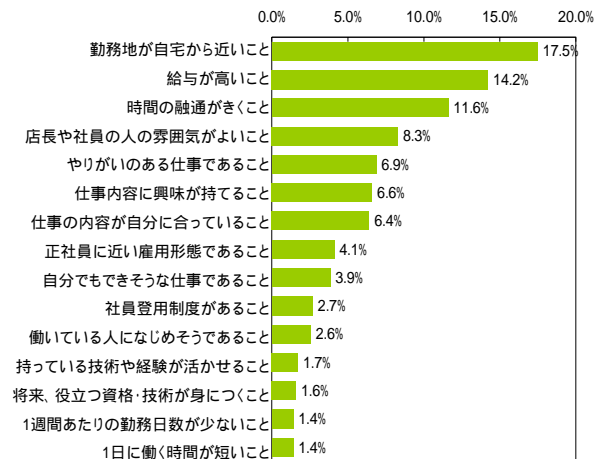


図5-3. 仕事さしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

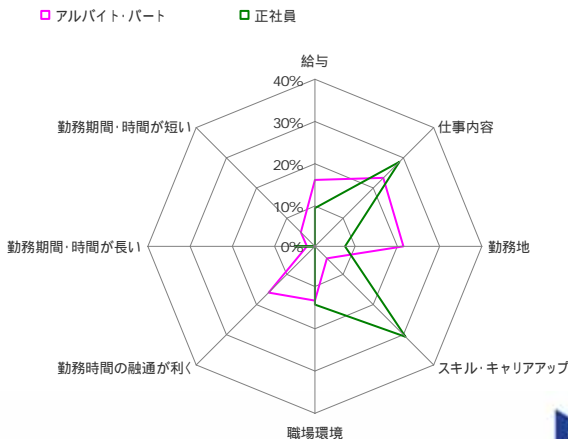
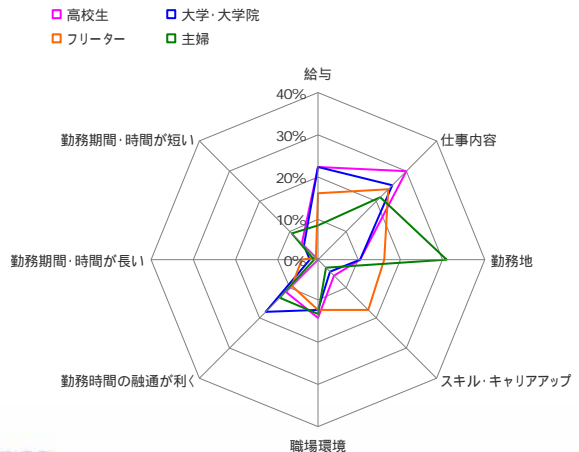


図5-4. 仕事さしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



6 希望の業種=ホテル

とにかく「仕事内容」にこだわる
夢とやりがいを感じられれば即決断！

ホテル業界の仕事を希望する人たちは、どんな点を選択時に最重視しているのだろうか(図6-2)。

「やりがいのある仕事であること」「仕事内容に興味を持てること」「給与が高いこと」がほぼ同じスコアでトップ。つづく「仕事の内容が自分に合っていること」とは大きな差がある。

グループに分けてみると(図6-1)、「仕事内容」が突出。実に40%近くにのぼる。【給与】【スキル・キャリアアップ】は10%台後半で、「仕事内容」に比べるとかなり低い結果に。「やりがいのある仕事であること」「仕事内容に興味を持てること」「仕事の内容が自分に合っていること」といった条件を、給与やキャリアよりも非常に重視する傾向が強いといえる。

アルバイトも正社員も心はひとつ
属性別でもひたすら「仕事の内容」重視

希望雇用形態別では(図6-3、派遣社員・契約社員はサンプル数が少ないため非掲載)、アルバイト・パート志望と正社員志望ともに【仕事内容】がほぼ同じスコアで突出。一方【スキル・キャリアアップ】では、正社員がかなり高く、勤務時間や勤務期間については正社員はゼロに近い。

次に属性別で見ると(図6-4、高校生はサンプル数が少ないため非掲載)、大学・大学院生、フリーター、主婦のいずれも【仕事内容】が1位。ただし、大学・大学院生はほかの属性よりは【給与】にこだわりがあり、主婦は【勤務時間に融通が利く】と【勤務期間・時間が短い】をより多く最重視項目にあげている。

図6-1. 仕事さしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

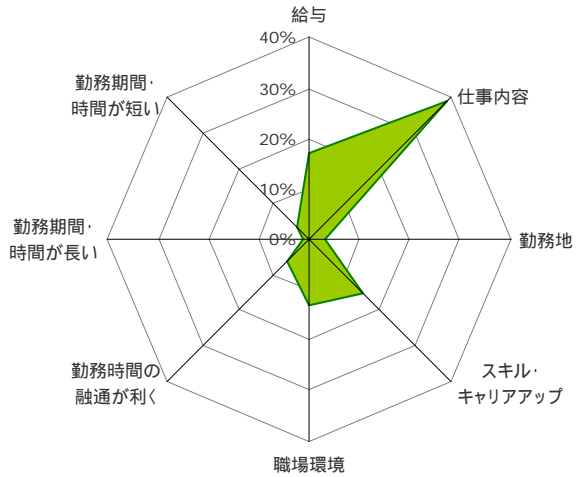


図6-2. 仕事さしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

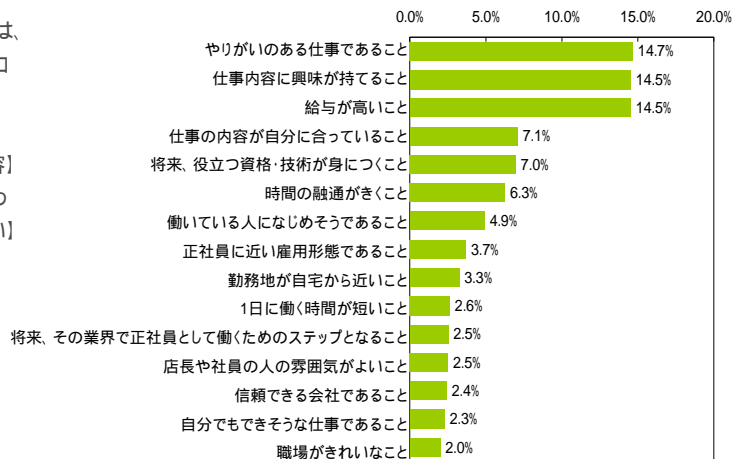


図6-3. 仕事さしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

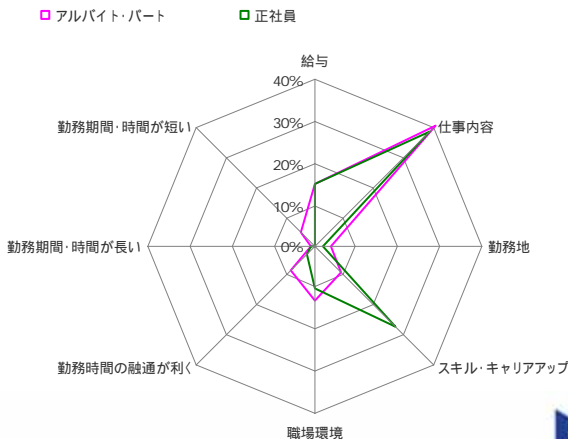
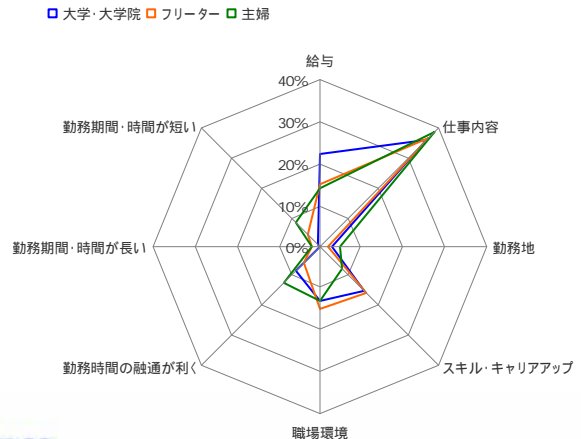


図6-4. 仕事さしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



7 希望の業種=商品検査仕分け

「給与の高さ」が人気を支えつつ
「仕事内容」もキッチリ見られている

「商品検査仕分け」の選択時の最重視条件(図7-2)トップは、「給与が高いこと」で18.6%。「給与」がトップの職種は、この「商品検査仕分け」と「テレフォンアポインター」(30.4%)のみ。

2位は「自分でもできそうな仕事であること」(12.4%)、3位は「勤務地が自宅から近いこと」(12.1%)、4位は「時間の融通が利くこと」(9.7%)。

次に、個別条件をグループ分けした結果をみると(図7-1)を見ると、【仕事内容】が高いわりに【スキル・キャリアアップ】が極端に低い(【スキル・キャリアアップ】が同じように低いのはほかに「テレフォンアポインター」と「レストラン」)。一方で【勤務地】や【職場環境】への関心はそこそこ高いという傾向が見られる。

派遣社員は「給与」で決める
正社員は「仕事内容」で決める

希望雇用形態別で見ると(図7-3、契約社員はサンプル数が少ないため非掲載)、派遣社員で【給与】が突出(40%超)。正社員志望では20%を下回っている。逆に【仕事内容】と【スキル・キャリアアップ】は、派遣社員よりも正社員で高い。また、アルバイト・パート志望では【スキル・キャリアアップ】が0%だが、【環境】は正社員や派遣社員よりもはるかに高い。

では、属性別ではどうか(図7-4)。高校生は【給与】と【仕事内容】を特に重視。一方主婦は、【勤務時間の融通が利く】が突出、【給与】【仕事内容】はとも属性中もっとも低い。

図7-1. 仕事さしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

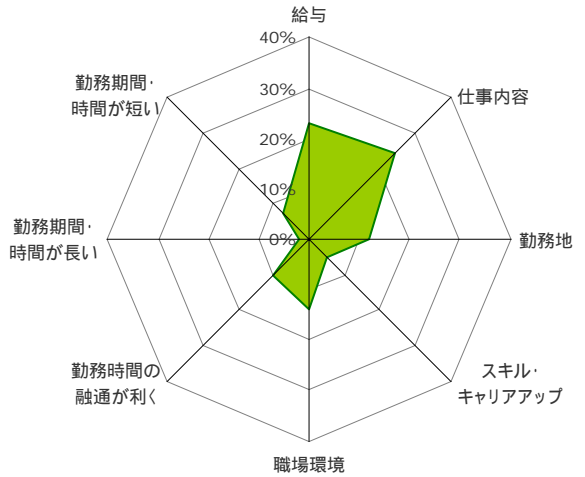


図7-2. 仕事さしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

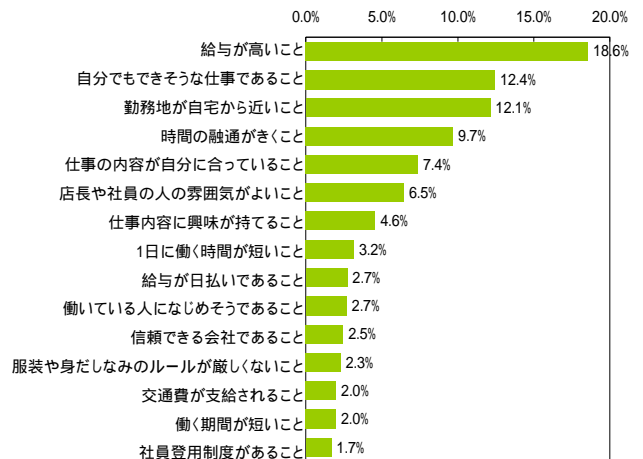


図7-3. 仕事さしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

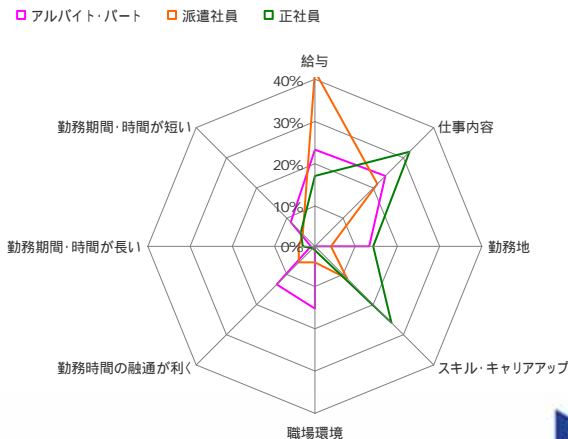
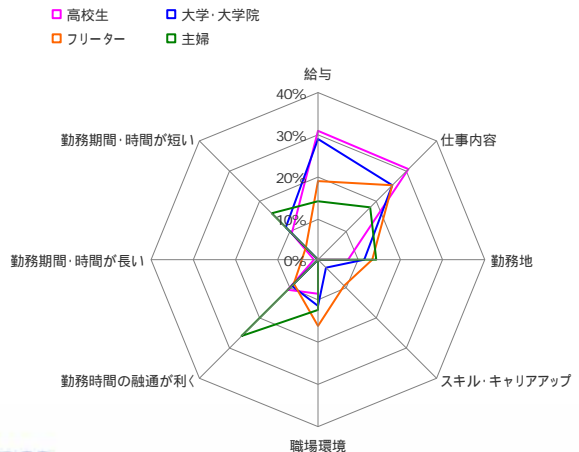


図7-4. 仕事さしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



8 希望の業種=美容関連

希望者の3人に2人は「仕事内容」が「スキル・キャリアアップ」にも注目！

「美容関連」希望者の仕事選択時の最重視項目は何だろうか。(図8-2)。

1位は「やりがいのある仕事であること」(15.8%)、2位が「仕事内容に興味を持てること」(12.3%)。以下、3位「給与が高いこと」(12.2%)、4位「将来、役立つ資格・技術が身につくこと」(10.5%)、5位「仕事の内容が自分に合っていること」(10.1%)と続く。このベスト5のうち、1位、2位、5位は「仕事内容」に関する条件だ。

各条件のグループ分けのグラフ(図8-1)では、「仕事内容」がきわめて高い(40%超)。ついで高いのが「スキル・キャリアアップ」で20%台半ば。つまり、この職種を希望する求職者の3分の2が、この2つどちらかを最重視していることになる。

ほかの条件をみると「給与」と「職場環境」が10%台ではあるものの、それ以外はごくわずかだ。

「ホテル」と同様のやりがい先行職種
とくに主婦の特化ぶりは大注目！

希望する雇用形態での違いはどうだろう(図8-3、派遣社員・契約社員はサンプル数が少ないため非掲載)。アルバイト・パート志望と正社員志望ともに「仕事内容」が突出しているほか、正社員では「スキル・キャリアアップ」も高い。

属性別で見ると(図8-4、高校生はサンプル数が少ないため非掲載)、どの属性でも「仕事内容」がもっとも高いが、特に主婦は圧倒的(50%超)。一方、「スキル・キャリアアップ」では大学・大学院生とフリーターがともに多く、主婦は低い。【給与】に関してはフリーターがもっとも高い。

図8-1. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

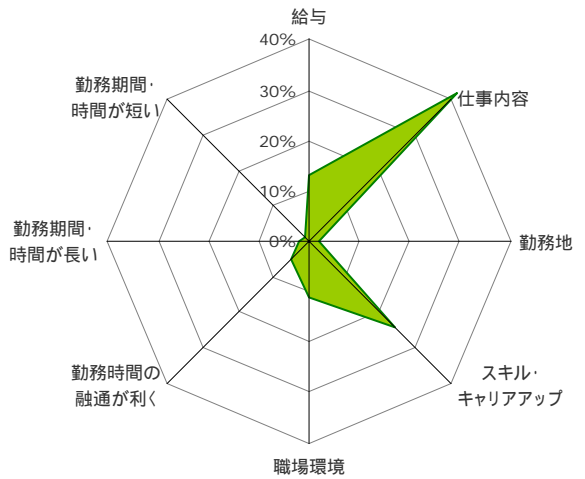


図8-2. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

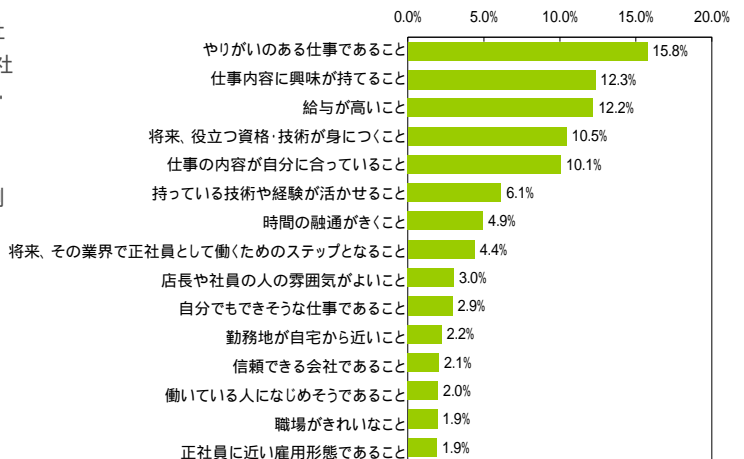


図8-3. 仕事さがしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

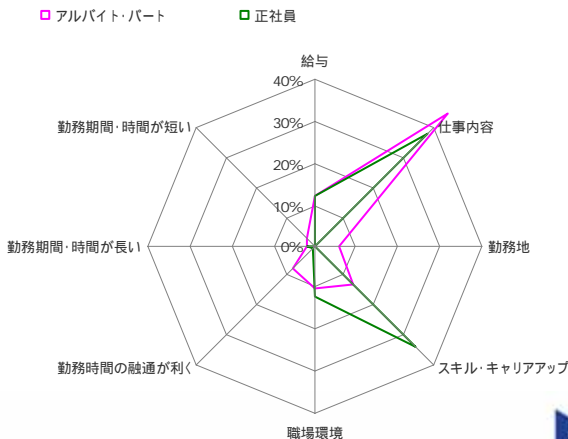
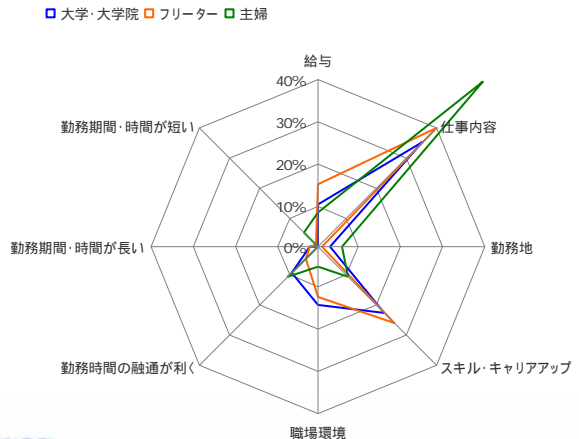


図8-4. 仕事さがしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)



9 希望の業種=医療福祉

「やりがいのある仕事」が最重視項目の第1位
「技術や経験を活かせる」ならさらに良し

「医療福祉」を希望する求職者の、仕事選択時の最重視項目は何だろうか。(図9-2)。

1位「やりがいのある仕事であること」(13.7%)、2位「給与が高いこと」(9.3%)。そして3位は「持っている技術や経験が活かせること」(8.8%)。この条件が、ベスト10に入っていることは、ほかの職種に見られない大きな特徴だ。

では、個々の条件を内容ごとにグループ分類した場合はどうだろう。そのグラフ(図9-1)を見てみると、【仕事内容】と【スキル・キャリアアップ】が高く、【給与】は両者と比較するとかなり低い。

契約社員は強い「スキル・キャリアアップ」志向
派遣社員が望むのは「勤務時間の融通が利く」

希望する雇用形態別では(図9-3)、正社員志向で「仕事内容」と「スキル・キャリアアップ」が特に高い。契約社員は「仕事内容」で、派遣社員は「仕事内容」と「スキル・キャリアアップ」で、それぞれ正社員志向より低い。また、派遣社員は「勤務期間・時間が長い」で20%超と、とくに高い。また、属性では(図9-4、高校生はサンプル数が少ないため掲載)、主婦では【勤務地】と【勤務時間の融通が利く】がほかの属性と比較して多い。

図9-1. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

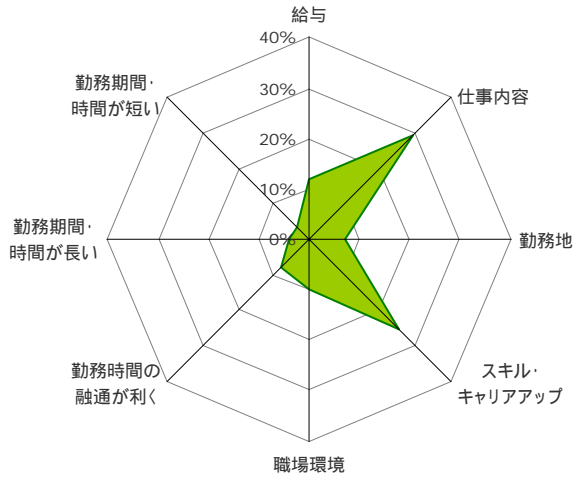


図9-2. 仕事さがしの際に最も重視すること (ひとつだけ選択/単位：%)

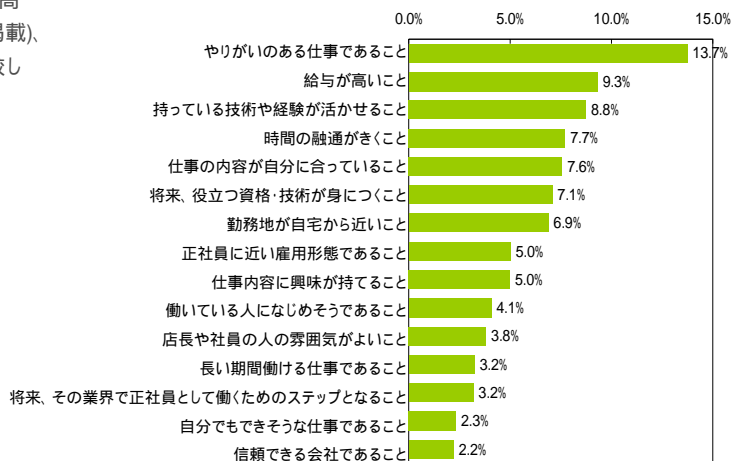


図9-3. 仕事さがしの際に最も重視すること<希望雇用形態別> (ひとつだけ選択/単位：%)

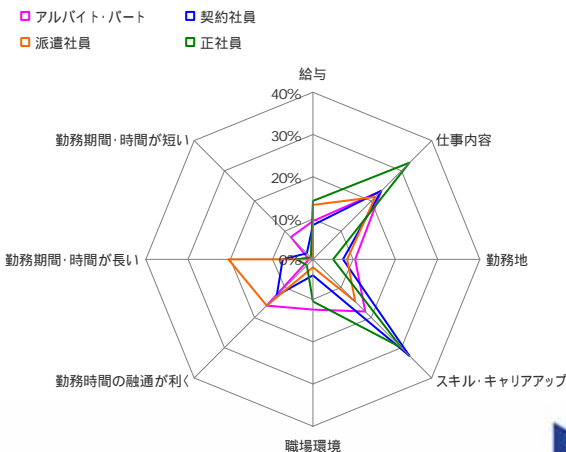


図9-4. 仕事さがしの際に最も重視すること<属性別> (ひとつだけ選択/単位：%)

